

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)アルインコ株式会社 福知山第2物流センター新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						2.6
Q1 室内環境			0.31			3.1
1 音環境		3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 室内騒音レベル	-	3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音	-	3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能	-	3.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能	-	3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-	-	-	
1.3 吸音	-	3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御	-	3.0	0.50	-	-	
1 室温	-	3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能	-	3.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性	-	3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御	-	1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式	-	3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		3.5	0.25	-	-	3.5
3.1 昼光利用	-	4.2	0.30	-	-	
1 昼光率	昼光率:2.97%	5.0	0.60	-	-	
2 方位別開口	-	-	-	-	-	
3 昼光利用設備	-	3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策	-	3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御	-	3.0	1.00	-	-	
3.3 照度	事務室の照度500lx以上	4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御	-	3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		3.7	0.25	-	-	3.7
4.1 発生源対策	-	4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	建築基準法を満たし、F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	-	-	
4.2 換気	-	3.6	0.30	-	-	
1 換気量	-	3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積/室面積=0.15	5.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮	-	3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理	-	3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視	-	3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	-	3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.0
1 機能性		2.8	0.40	-	-	2.8
1.1 機能性・使いやすさ	-	3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性	-	3.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応	-	3.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画	-	3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性	-	2.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	-	3.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース	-	2.0	0.33	-	-	
3 内装計画	-	1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理	-	3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	維持管理に配慮した設計において、該当する項目が標準以上	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	-	3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振	-	3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数	-	3.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	-	3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔	ガルバリウム鋼板:35年	5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性	-	2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備	-	3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	-	2.0	0.20	-	-	
3 電気設備	-	3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法	-	3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	-	3.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 空間のゆとり		3.2	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	-	2.0	0.60	-	-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.06	5.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.39	-	-	1.8
1	生物環境の保全と創出	-	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.8
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.2
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m :0.58	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI _m :0.48	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用		2.0	0.20	-	-	2.0
	集合住宅以外の評価		2.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	1.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.5
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	節水コマに加え、節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.3	0.60	-	-	3.3
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上がり材が容易に分別可能、OAフロアの採用	5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		4.4	0.20	-	-	4.4
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		5.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	グラスウール断熱材を使用	5.0	1.00	-	-	
	3 冷媒	-	-	-	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.5
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率:70%	4.1	0.33	-	-	4.1
2	地域環境への配慮		3.3	0.33	-	-	3.3
	2.1 大気汚染防止	ガス工事なし	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	0.33	-	-	
	2 振動	-	3.0	0.33	-	-	
	3 悪臭	-	3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリスト・広告物照明の扱いの配慮事項の過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)アルインコ株式会社 福知山第2物流センター新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	6.0	-	○	○	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0	-	-	-	○	-	-	○	○	-	○	○	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	1.0	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	-	-	1.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	4.0	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 経排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	9.0	-	1.0	-	3.0	3.0	-	-	-	2.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-												
U値(W/m2K)		窓システム	-	屋根	-	外壁	-	床	-						
住戸部分	窓システムU値	-	外皮UA値	-	η AC	-	η AH	-							
昼光率	3.0%														
自然換気有効開口面積率	0.2%														

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

3 設備システムの高効率化

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

執務スペース	0.0㎡ /人	病床	0.0㎡ /床	シングル	0.0㎡ ツイン	0.0㎡	
コンセント容量	0.0 VA/㎡						
天井高	2.6 m						
リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%				
想定耐用年数	0 年						
想定必要間隔	35 年						
想定必要間隔	0 年						
想定必要間隔	0 年						
階高	3.4 m						
壁長さ比率	6.0%						
床荷重	－ N/m2						
外構緑化指数	14%	建物緑化指数	0%				
空地率	56%	水平投影面積率	11%	地表面対策面積率	8%	舗装面積率	47%
BPI/BPI _{lm}	0.58	断熱等性能等級	対象外 相当				
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%		
		通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%		
BPI/BPI _{lm}	非住宅 0.48	住宅	－ 太陽光 0kW	太陽熱等 0kW	蓄電池 0kW		
雨水利用率	0.0%						
特定調達品目	－	エコマーク商品	－	自治体指定の特定品目等	－		
使用比率	0.0%						
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					
見付面積比	24%	隣接間隔指標Rw	1.23				
地表面対策面積率	8.0%	屋根面対策面積率	#DIV/0!	外壁面対策面積率	#DIV/0!		
見付面積S _b	583㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	131.4 m	基準高さH _b	17.58 m		
緑地	1,208㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡
				再帰性反射対策面			